

ヨーロッパの歌劇場で

歌うためには

～オーディション、コンクールの実際

オペラ研究所
連続講座

4

[講師]

シュトゥットガルト州立歌劇場
次期オペラ監督

エヴァ・クライニッツ

Designated Director of Opera, Stuttgart State Opera

Eva Kleinitz

[ドイツ語逐次通訳] 松田 暁子

ドイツ・ランゲンハーゲンに生まれ、自由ヴァルドルフ学校(ハノーファー)を卒業。ザールブリュッケンのザールラント大学で音楽理論、発達心理学、イタリア文学を修め、芸術学の修士号を取得。1991年からアシスタント・ディレクターとしてデイヴィッド・パウトニー、ゲッツ・フリードリヒ、ジェローム・サヴァリイ、フィリップ・アルロー、ダニエル・アバドラ、各国の監督とコラボレーションした。また、歌手のコーチとして、フランス語、英語、イタリア語の翻訳もおこなった。1998年9月より、ブレゲンツ音楽祭の芸術部門に勤務。2000年1月、ブレゲンツ音楽祭の芸術運営部門長に就任、03年9月からは同音楽祭の新インテンダント、デイヴィッド・パウトニーのもと、オペラ監督、芸術監督代理を務めた。この間、ケルン国際音楽コンクール(2005年5月)、バルセロナのフランシスコ・ヴィナス国際声楽コンクール(2006年1月)の審査員を務めた。2006年12月、ベルギー王立モネ劇場の芸術企画・制作監督・総監督ピーター・デ・カルヴェのアーティストック・アドヴァイザーに就任。2010年に退任し、シュトゥットガルト州立歌劇場オペラ監督に就任する。

2010年9月17日(金)
17:00～20:00(開場16:30)

昭和音楽大学南校舎5F
ユリホール (小田急線・新百合ヶ丘駅/南口徒歩4分)

[聴講無料] 定員250名

[申込方法]

裏面に必要事項をご記入の上、
FAXでお申し込みください。

* FAXをご利用になれない場合は、はがき、E-mailでも結構です。

* 入場整理券は9月10日(金)以降にお送りいたします。

* 応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

ヨーロッパの歌劇場で歌うためには、オーディションやコンクールなどの難関をぐりぬける必要があります。日本で勉強をした歌手は、そうした機会を自分で開拓しなければなりません。今回はシュトゥットガルト州立歌劇場次期オペラ監督のエヴァ・クライニッツ氏をお招きし、ヨーロッパにおけるオーディションやコンクールの実際について学びます。第1部では参加する際の心構えや、どのような曲目で臨むべきか等について、審査する立場から講演いただきます。第2部では歌手やコレペイトウアを対象に模擬オーディションを行い、劇場が若いアーティストに求めていることとは何か、体験していただきます。

Photo: Karl Forster



[主催・お問合せ] 昭和音楽大学舞台芸術センター オペラ研究所 Tel 044-953-9858

〒215-0004 神奈川県川崎市麻生区万福寺1-16-6 Fax 044-953-6652 E-mail opera@tosei-showa-music.ac.jp URL <http://www.tosei-showa-music.ac.jp/opera/>
Contact: Opera Research Center, Showa University of Music 1-16-6 Manpukuji, Asao, Kawasaki, Kanagawa 215-0004 Japan Tel +81-44-953-9858 Fax+81-44-953-6652